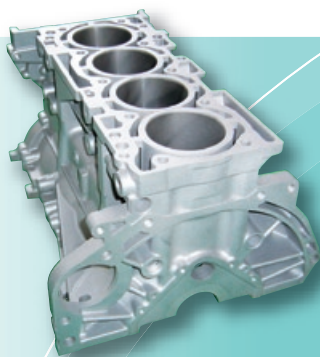


RYOBI

株主のみなさまへ

第96期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



DIE CASTINGS



PRINTING
EQUIPMENT



POWER
TOOLS



BUILDERS'
HARDWARE

あなたの暮らしの中で役立っています

12.9% 住建機器事業

この事業は、パワーツール（電動工具、園芸用機器等）と建築用品（ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等）で構成しています。

■パワーツール

小型、軽量、コンパクトをコンセプトにした商品開発体制、日本と中国での生産体制などを活かし、プロ用からDIYまでニーズに応えた商品を提供しています。



高圧洗浄機
AJP-1600

■建築用品

主力のドアクローザなどは、主として中国で生産しています。特長のある商品の開発、生産性向上によるコストダウンの推進、価格競争力の強化などにより、収益力の向上をはかっています。

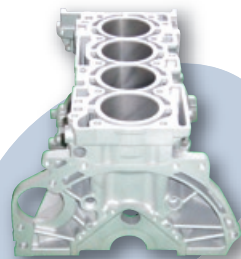


ドアクローザ 1000シリーズ

連結売上高
構成比

67.5% ダイカスト事業

世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウ、日本・米国・欧州・中国での生産体制などを活かし、自動車メーカーなどとの関係を強化・拡充しています。世界戦略体制を一層強化するため平成19年4月、メキシコへ生産拠点を設立し、平成20年10月に稼働の予定です。



シリンダーブロック

19.6% 印刷機器事業

高い精度と機能の高度化を追求し、世界市場での評価を一層強固にするため、新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めています。また、IT化・デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発するなど、マーケットニーズに合った商品の拡充に取り組んでいます。中型印刷機の需要増加に対応するため広島東工場の生産能力の増強をはかりました。生産性の向上に取り組み、さらなる拡販を進めます。



B2判高速オフセット
4色印刷機
RYOBI 784E

目次

ごあいさつ	2	トピックス	8	株式の概要	12
決算の要点解説	3	連結財務諸表	9	会社の概要・役員	13
事業の概況	5	単独財務諸表	11	リョービグループの CSR経営について	14

ごあいさつ

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第96期（平成20年3月期）中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念としております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。また、ダイカストと完成商品をあわせもつ企業として成長・発展し続けるために、競争力の強化、収益力の向上に努めております。

昨今、関心が高まっているCSR（企業の社会的責任）につきましては、リョービグループは企業理念を実践することがCSRの推進であると認識しております。環境保全への取り組み、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を積極的に推進しております。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた安定した配当を継続することを基本としております。当期は1株当たりの年間配当金12円を予定しており、中間配当金は1株につき6円とし、支払開始日は12月4日といたします。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

平成19年12月



代表取締役会長

浦上 浩

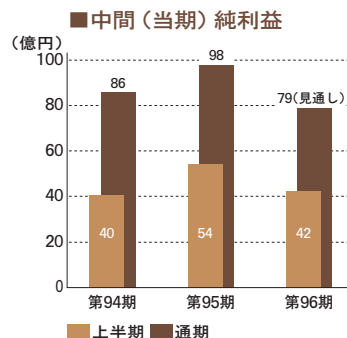
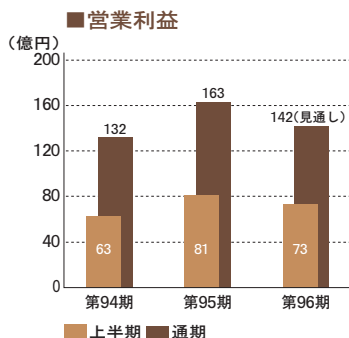
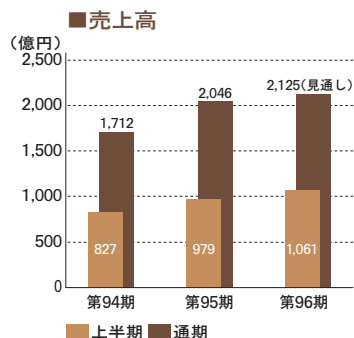
代表取締役社長

吉川 進

売上高は中間期として4期連続の増収

利益は減価償却費の負担増などにより減益

通期も増収・減益の見込み



■連結の業績推移

科目	〈 〉内は平成・月					
	第94期(中間) (17.4~17.9)	第95期(中間) (18.4~18.9)	第96期(中間) (19.4~19.9)	第94期(通期) (17.4~18.3)	第95期(通期) (18.4~19.3)	第96期(通期見通し) (19.4~20.3)
売上高(百万円)	82,734	97,973	106,134	171,232	204,671	212,500
営業利益(百万円)	6,321	8,128	7,353	13,214	16,353	14,200
経常利益(百万円)	6,571	8,294	7,350	13,407	16,408	13,700
中間(当期)純利益(百万円)	4,057	5,460	4,286	8,635	9,877	7,900
1株当たり中間(当期)純利益(円)	24.24	32.59	25.56	51.31	58.92	47.18
総資産(百万円)	160,265	192,772	207,332	177,864	202,528	—
純資産(百万円)	59,966	70,392	78,116	66,756	75,757	—
1株当たり純資産(円)	357.82	414.42	461.62	398.35	445.93	—

※第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

■売上高・利益の状況

当中間期のわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しなど、ゆるやかな回復基調が続きました。しかし、原油や原材料価格の上昇・高止まり、為替の急激な変動、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速懸念などにより、先行きの不透明感が強まりました。

このような情勢のもとで、リョービグループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行しました。

その結果、当中間期は下記の「業績推移」に記載のとおり連結、単独とも増収ながら減益となりました。

売上高はダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で伸ばし、連結は4期連続の増収、単独は5期連続の増収となりました。利益については売上高の増加、コストダウンの推進、生産性の向上などにより増益をめざしましたが、減価償却費の負担増などにより、連結、単独とも前中間期比減益となりました。

■資産・負債等の状況

当中間期の連結総資産は、流動資産では現金及び預金の減少とたな卸資産の増加、固定資産では有形固定資産の増加などにより、前期末に比べ増加しました。

受取手形割引高を除いた連結の有利子負債残高は前期末に比べ増加し、445億円となりました。

連結の純資産は、中間純利益による増加や配当金の支払いによる減少などにより781億円となりました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は771億円となり、自己資本比率は37.2%となりました。

■通期の見通し

原油や原材料価格のさらなる高騰、米国経済の減速懸念の強まり、為替の変動、利上げなど、いろいろなリスク要因があります。また、税制改正に伴う減価償却制度の変更などもあって償却費負担増となり、利益を圧迫します。

このような厳しい状況ではありますが、リョービグループは商品開発力、製造力、販売力を高めるとともに、コストダウンや生産性向上の取り組みを一層徹底して、競争力の強化、収益力の向上をはかります。現時点における通期の業績見通しは、下記のとおり連結、単独とも前期比増収ながら減益となる見通しです。売上高はダイカスト事業、印刷機器事業が伸ばし、住建機器事業はほぼ横ばいになる見込みです。利益の面では、前期に比べて減価償却費の負担が大幅に増加することなどにより、減益を見込んでいます。

■単独の業績推移

科 目	第94期(中間)	第95期(中間)	第96期(中間)	第94期(通期)	第95期(通期)	第96期(通期見直し)
	(17.4~17.9)	(18.4~18.9)	(19.4~19.9)	(17.4~18.3)	(18.4~19.3)	(19.4~20.3)
売上高(百万円)	59,462	71,688	78,571	126,390	154,666	160,500
営業利益(百万円)	4,387	6,042	5,797	10,166	13,410	11,400
経常利益(百万円)	4,936	6,622	6,271	11,092	14,415	11,900
中間(当期)純利益(百万円)	2,926	3,972	3,776	6,751	8,341	6,900
1株当たり中間(当期)純利益(円)	17.48	23.68	22.53	40.02	49.72	41.21
総資産(百万円)	122,814	148,203	158,410	137,088	155,566	—
純資産(百万円)	52,686	59,374	64,837	58,190	63,725	—
1株当たり純資産(円)	314.01	353.89	387.80	346.83	379.83	—

()内は平成・月

事業の概況

■ダイカスト事業

売上高は716億27百万円(前中間期比8.3%増)、営業利益は34億56百万円(同21.2%減)、売上高営業利益率は4.8%(前中間期は6.6%)となりました。日米の自動車メーカー向けが堅調で増収となりました。利益については売上高の増加やコストダウンなどを強力に進めましたが、原材料価格の上昇、減価償却費の負担増などにより減益となりました。

地球環境保護、省資源、省エネルギーは世界的なテーマであり、ダイカストはこれらを実現する有効な技術として、今後ますます成長することが期待されています。自動車分野はもとより、自動車以外の分野へも用途を拡大するとともに、コストダウン・生産性向上に一層注力します。

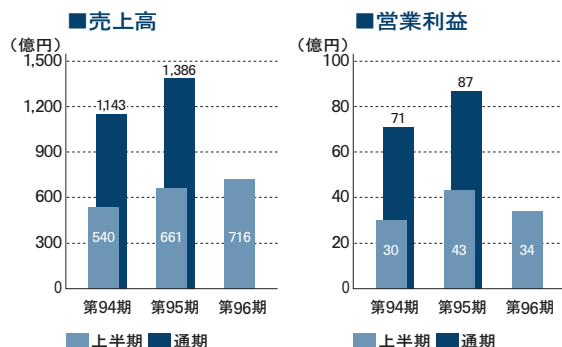
軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

ダイカストとは、精密な金型に溶かしたアルミニウム、マグネシウム、亜鉛など非鉄金属の合金を高速・高圧で注入し、瞬時に成形する技術及び製品のことをいいます。

当社は、金型の設計・製作から鋳造、加工、組立に至るまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

寸法精度が高く、肉厚の薄い複雑な形状にも対応できるダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の環境面からも注目されています。

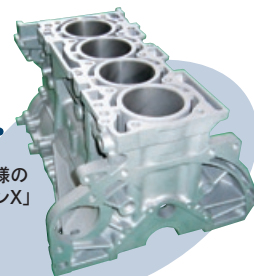
特に、軽量化により低燃費をめざす自動車においては、エンジン、トランスミッションなど数多くの部品に当社のダイカスト製品が採用されています。三菱自動車工業株式会社様の「ランサーエボリューションX」のエンジン部品にも当社の製品が使われています。



世界トップクラスのダイカストメーカー

自動車の軽量化に貢献しているリョービのダイカスト。シリンダーブロック、トランスミッションケースなど、その数は100車種以上2,000点に及び、技術力と品質に高い評価を得ています。

リョービは長年培ってきた技術と経験をベースに、機動力、総合力によって自動車をはじめさまざまな分野へ高品質なダイカスト製品を提供しています。



シリンダーブロック
(三菱自動車工業株式会社様の「ランサーエボリューションX」へ搭載)

■印刷機器事業

売上高は207億67百万円（前中間期比11.5%増）、営業利益は27億82百万円（同3.7%増）、売上高営業利益率は13.4%（前中間期は14.4%）となりました。国内販売は減少しましたが、欧州・米州・アジア向けを中心に輸出が好調で増収となりました。利益については輸出が増加したこと、一層のコストダウンを推進したことなどにより増益となりました。今後もユーザーニーズをとらえた商品開発、販売促進活動を積極的に行うとともに、コストダウンや生産性の向上をはかり、一層の収益拡大をめざします。

RYOBI 750シリーズに インラインUVキャストシステムを搭載

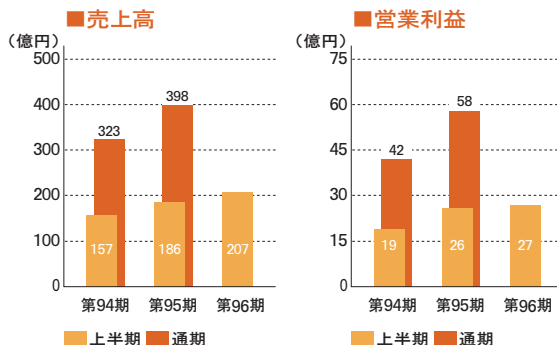
印刷した面に虹色の模様を浮かび上がらせるホログラム加工が印刷機内部で行える「インラインUVキャストシステム」をRYOBI 750シリーズのオプションとして開発しました。

従来のホログラム加工は、通常の印刷後、専用の加工機で行っていましたが、世界で初めて※印刷機の内部でホログラム加工を可能にしました。生産効率を高め短納期のホログラム加工を実現するこのシステムは、今年9月に開催された世界4大印刷機材展のひとつ「IGAS2007」に出展し、注目を集めました。

※平成19年8月末現在、当社調べ



インラインUVキャストシステム
搭載のRYOBI 755

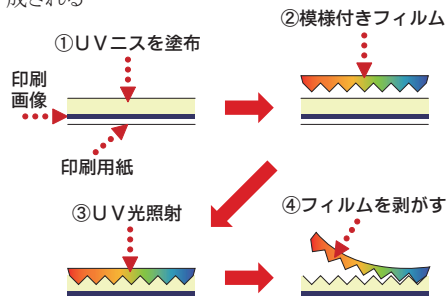


ホログラム加工とは…?

印刷物の表面に凹凸の模様をつけ、光の反射によって虹色に見えるようにする加工。さまざまな出版物や広告物、ギフト商品の包装、パッケージ、シール、チケット、商品券など多様な印刷物にホログラム加工を行うことができます。

【ホログラム加工の仕組み】

- ① UVニス（UV Resin）を印刷物の上に塗布する
- ② 凹凸模様のついた専用フィルム（Patterned Film）を印刷物にかぶせる
- ③ かぶせた専用フィルムの上からUV光を照射し、UVニスを硬化させて専用フィルムの凹凸模様に固める
- ④ 専用フィルムを剥がすとUVニス表面に凹凸模様が形成される



事業の概況

■ 住建機器事業

売上高は137億38百万円(前中間期比41%増)、営業利益は11億15百万円(同5.0%増)、売上高営業利益率は8.1%(前中間期は8.0%)となりました。

競争がますます激化する中で、パワーツール、建築用品とも売上を伸ばし、利益の面でも増加しました。

今後も海外で生産する強みを活かしてコストダウンや生産の効率化を進め、価格競争力のある商品、特長のある商品を提供していきます。

握り革命! 新型インパクトドライバ「IDS-135」

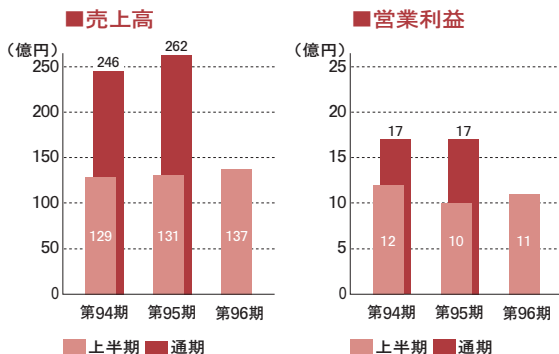
100V仕様のインパクトドライバの中で最も短い全長(ヘッド部分)※を実現した電動インパクトドライバ「IDS-135」を発売しました。

モーターの配置を変更することにより、形状がコンパクトになりました。さらに、重心位置の改善で腕への負担が30%低減したことにより、狭い場所での作業にも効果を発揮します。無接点スイッチ、LEDライト、3段階に調整できる打撃コントロールの採用により、作業がしやすくなっています。

※平成19年9月末現在、当社調べ



IDS-135



欧州向けステンレスカバー仕様ドアクローザ

海外市場において、幅広い人気のあるドアクローザ「D-2550」を欧州向けにステンレスカバー仕様で発売しました。アルミダイカスト製のドアクローザ本体をステンレスの角型カバーで覆い、その他の部品にはステンレス調のメッキを施すことで、スッキリとしたデザインに仕上げました。



D-2550 (ステンレスカバー仕様)

くらしに広がるリョービの商品

■ パワーツール

ハンディタイプのドリル、カンナ、グラインダからバンドソーやホゾ取りといった大型機、芝刈機やヘッジトリマなどの園芸用機器まで、多様な商品を提供して創造するよろこびをお手伝いしています。

プロ用は優れた性能と操作性で生産性を向上。プロの確かな仕事のパートナーとして活躍しています。また、DIYやガーデニングといった趣味の分野においても、使いやすさにこだわった商品開発で、楽しい創作の世界を応援しています。

■ 建築用品

生活に根ざした発想と信頼の技術で、くらしに役立ち、快適な住まいやオフィスなどの実現をめざしています。

優れた耐久性と美しいボディアのドアクローザなどの建築金物。オフィスや病院、ホテルなどの室温を快適な温度にコントロールする空調制御システム。患者さんやお年寄りの生活環境をバリアフリーの視点から考えた引戸クローザ。軽量で耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミダイカスト瓦。機能性、安全性はもとよりバリアフリーなどのユニバーサルデザインや環境保全に配慮した商品開発を進めています。

トピックス

■ 第11回GIFA (国際鋳造機材・技術展) に出展

平成19年6月12日～16日の5日間、ドイツのデュッセルドルフで開催された世界最大規模の鋳造機材・技術展「11th International Foundry Trade Fair with WFO Technical Forum」(通称GIFA)に、RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITEDが初めて出展しました。

エンジンブロック、サブフレームなどの自動車部品を展示し、最先端のダイカスト技術をアピールしました。



■ 中型印刷機の生産能力を増強、IGAS2007に出展

広島東工場において平成19年1月から建設を進めていた印刷機器の第2工場の増築工事(延べ床面積 約9,200m²)が8月に完了しました。11月から本格的に稼動し、生産能力は平成18年3月時点の約2倍になりました。お客様の多様なご要望を実現するため、カスタマイズされた高品質の印刷機を生産する工場として稼動しています。

また、平成19年9月21日～27日の7日間、世界4大印刷機材展のひとつ「IGAS2007」が東京ビッグサイトで開催されました。当社は、新開発のインラインUVキャストシステムを搭載した5色印刷機など9台の印刷機と最新の周辺機器を展示し、実演を行いました。当社が考える超短納期対応と新たな高付加価値印刷を多くのお客様にアピールでき、今後の販売に大いに期待の持てる展示会となりました。



増築工事が完了した第2工場(手前)



IGAS2007の風景

■ JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2007に出展

平成19年8月23日～25日の3日間、千葉県のみぎはらメッセで「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2007」が開催され、電動工具や園芸用機器の主力商品を展示しました。

DIY用商品だけでなくプロ用のドリル、丸ノコなども多数の来場者にご覧いただき、当社の幅広いラインアップを実感していただきました。また、実演コーナーでは、充電式のスクリウドライバや芝生の手入れなどに使用するバリカンなどの使いごちを体験していただきました。



連結財務諸表

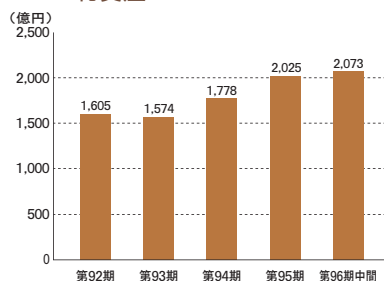
■ 貸借対照表 (平成19年9月30日現在)

(単位：百万円)

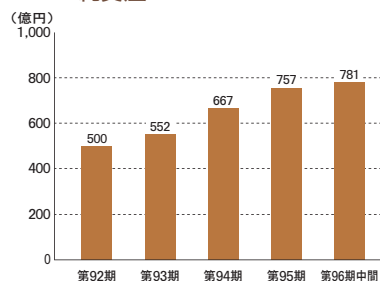
[資産の部]			
科 目	当期 (中間)	前期 (期末)	
●流動資産	110,673	110,574	
現金及び預金	13,414	17,004	
受取手形及び売掛金	47,152	47,130	
有価証券	2,707	2,908	
たな卸資産	41,992	38,398	
繰延税金資産	1,744	2,161	
その他	3,708	3,025	
貸倒引当金	△ 46	△ 54	
●固定資産	96,658	91,954	
有形固定資産	77,186	73,028	
建物及び構築物	21,394	19,566	
機械装置及び運搬具	28,022	27,214	
土地	21,469	21,325	
建設仮勘定	3,706	2,226	
その他	2,593	2,695	
無形固定資産	2,111	1,990	
投資その他の資産	17,360	16,936	
投資有価証券	13,411	13,257	
繰延税金資産	1,726	1,472	
その他	2,266	2,252	
貸倒引当金	△ 43	△ 45	
資産合計	207,332	202,528	

[負債の部]			
科 目	当期 (中間)	前期 (期末)	
●流動負債	99,562	99,057	
支払手形及び買掛金	50,571	49,956	
短期借入金	27,987	24,114	
未払金	6,684	7,442	
未払法人税等	2,695	5,092	
賞与引当金	2,374	2,319	
その他	9,248	10,131	
●固定負債	29,653	27,713	
長期借入金	16,538	14,217	
繰延税金負債	3,012	3,283	
再評価に係る繰延税金負債	674	674	
退職給付引当金	6,450	6,549	
持分法適用に伴う負債	391	409	
その他	2,585	2,579	
負債合計	129,216	126,771	
[純資産の部]			
●株主資本	77,403	75,534	
資本金	18,472	18,472	
資本剰余金	23,750	23,750	
利益剰余金	36,316	34,043	
自己株式	△ 1,135	△ 731	
●評価・換算差額等	△ 223	△ 719	
その他有価証券評価差額金	4,878	5,144	
繰延ヘッジ損益	△ 23	△ 25	
土地再評価差額金	626	626	
為替換算調整勘定	△ 5,704	△ 6,464	
●少数株主持分	935	942	
純資産合計	78,116	75,757	
負債及び純資産合計	207,332	202,528	

■ 総資産



■ 純資産



※第92期から第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

■損益計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	当期(中間)	前期(中間)
●売上高	106,134	97,973
●売上原価	86,396	78,115
売上総利益	19,737	19,857
●販売費及び一般管理費	12,383	11,729
営業利益	7,353	8,128
●営業外収益	876	861
●営業外費用	879	695
支払利息	530	380
その他の営業外費用	349	315
経常利益	7,350	8,294
●特別利益	18	935
投資有価証券売却益	0	770
その他の特別利益	17	165
●特別損失	157	876
固定資産処分損	80	108
役員退職慰労金	—	763
その他の特別損失	76	5
税金等調整前中間純利益	7,211	8,353
●法人税等	2,913	2,875
●少数株主損益	11	16
中間純利益	4,286	5,460

■キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当期(中間)	前期(中間)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,531	9,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,865	△ 4,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,479	△ 3,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	18
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 3,773	1,793
現金及び現金同等物の期首残高	17,611	16,097
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,838	17,890

■株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
●平成19年3月31日残高	18,472	23,750	34,043	△ 731	75,534	5,144	△ 25	626	△ 6,464	△ 719	942	75,757
●当中間期中の変動額												
剰余金の配当			△2,013		△2,013							△2,013
中間純利益			4,286		4,286							4,286
自己株式の取得				△ 403	△ 403							△ 403
株主資本以外の項目の当中間期中の変動額(純額)						△ 266	2	—	760	496	△ 6	489
当中間期中の変動額合計	—	—	2,273	△ 403	1,869	△ 266	2	—	760	496	△ 6	2,358
●平成19年9月30日残高	18,472	23,750	36,316	△1,135	77,403	4,878	△ 23	626	△5,704	△ 223	935	78,116

単独財務諸表

■ 貸借対照表 (平成19年9月30日現在) (単位：百万円)

[資産の部]		
科目	当期(中間)	前期(期末)
●流動資産	89,487	92,012
●固定資産	68,922	63,554
有形固定資産	40,041	37,963
無形固定資産	552	465
投資その他の資産	28,328	25,125
資産合計	158,410	155,566
[負債の部]		
●流動負債	74,267	74,429
●固定負債	19,305	17,412
負債合計	93,572	91,841
[純資産の部]		
●株主資本	60,136	58,776
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,654	23,654
利益剰余金	19,145	17,382
自己株式	△ 1,135	△ 731
●評価・換算差額等	4,700	4,948
純資産合計	64,837	63,725
負債及び純資産合計	158,410	155,566

■ 損益計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	当期(中間)	前期(中間)
●売上高	78,571	71,688
●売上原価	64,850	58,624
割賦販売損益繰延前総利益	13,720	13,063
●割賦販売損益繰延金	—	△ 310
割賦販売損益繰延後総利益	13,720	13,374
●販売費及び一般管理費	7,923	7,331
営業利益	5,797	6,042
●営業外収益	924	953
●営業外費用	449	374
経常利益	6,271	6,622
●特別利益	73	775
●特別損失	28	837
税引前中間純利益	6,317	6,560
●法人税等	2,540	2,587
中間純利益	3,776	3,972

■ 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等	総資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
●平成19年3月31日残高	18,472	23,654	17,382	△ 731	58,776	4,948	63,725
●当中間期中の変動額							
剰余金の配当			△ 2,013		△ 2,013		△ 2,013
中間純利益			3,776		3,776		3,776
自己株式の取得				△ 403	△ 403		△ 403
株主資本以外の項目の当中間期中の変動額(純額)						△ 247	△ 247
当中間期中の変動額合計	—	—	1,763	△ 403	1,360	△ 247	1,112
●平成19年9月30日残高	18,472	23,654	19,145	△ 1,135	60,136	4,700	64,837

株式の概要

- 発行可能株式総数 …………… 500,000千株
- 発行済株式の総数…………… 171,230千株
- 自己株式保有数…………… 4,036千株
- 株主数…………… 10,832名
- 株式の上場…………… 東京証券取引所

大株主

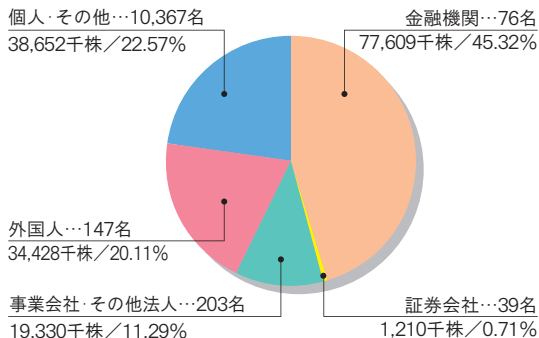
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	11,169	6.52
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.43
第一生命保険相互会社	8,067	4.71
日本生命保険相互会社	7,823	4.56
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,523	3.80
日本スタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	5,311	3.10
財団法人浦上奨学会	5,280	3.08
菱工会持株会	5,071	2.96
ピクテアンドシー ヨーロッパエスエー	4,312	2.51
住友信託銀行株式会社	3,503	2.04

(注) 当社は、自己株式4,036千株を保有しております。

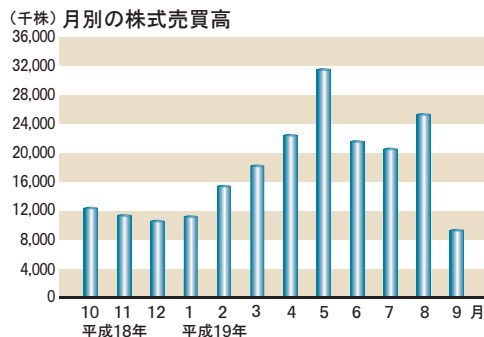
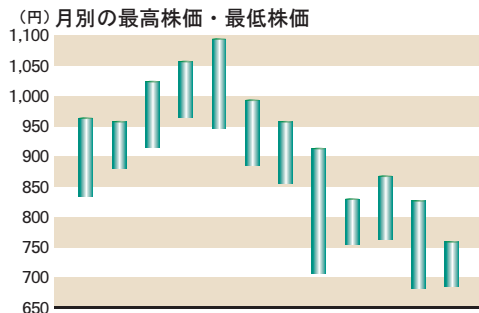
配当金(1株当たり)

	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
中間配当金	—	—	—	—	6円
期末配当金	7円50銭	7円50銭	10円	12円	6円(予想)
年間配当金	7円50銭	7円50銭	10円	12円	12円(予想)

株式分布状況(所有者別) 合計 10,832名/171,230千株



株価及び株式売買高の推移



会社の概要・役員

(平成19年12月3日現在)

会社の概要

- 社名……リョービ株式会社
- 英文社名……RYOBI LIMITED
- 設立年月日……昭和18年12月16日
- 資本金……184億7,219万円
- 社員数……2,129名(平成19年10月31日現在)
- 主要商品……ダイカスト製品
印刷機器(オフセット印刷機、印刷周辺機器等)
パワーツール(電動工具、園芸用機器等)
建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)

■事業拠点

- 本社…〒726-8628 広島県府中市目崎町762 ☎(0847) 41-1111
- 東京支社…〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03) 3927-5541
- 虎ノ門オフィス…〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-1
虎ノ門セントラルビル ☎(03) 3927-5541
- 大阪支店…〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(072) 685-1122
- 営業所…札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡
- 広島工場…〒726-8628 広島県府中市目崎町762 ☎(0847) 41-1111
- 広島東工場…〒726-0002 広島県府中市鞆町800-2 ☎(0847) 40-1600
- 静岡工場…〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原5215-1
☎(054) 385-3101
- 印刷機器工場…〒726-0023 広島県府中市栗柄町444-1 ☎(0847) 45-5871

主なグループ会社

●ダイカスト事業

- リョービミラサカ株式会社
- リョービミツギ株式会社
- 株式会社東京軽合金製作所
- 生野株式会社
- RYOBI DIE CASTING(USA),INC.
- RDCM, S. de R. L. de C. V.
- RYOBI ALUMINIUM CASTING
(UK),LIMITED
- 利優比压铸(大連)有限公司

●印刷機器事業

- リョービイマジクス株式会社
- 住建機器事業
- リョービ販売株式会社
- リョービパワーツール株式会社
- 利優比(大連) 机器有限公司

役員

■取締役

- 代表取締役 浦上 浩
- 代表取締役 吉川 進
- 取締役 田中 孝雄
- 取締役 横山 隆志
- 取締役 加村 幹夫
- 取締役 室家 士郎
- 取締役 石井 浩司
- 取締役 浦上 彰
- 取締役 鈴木 健二郎
- 取締役(社外) 大岡 哲

■監査役

- 常勤監査役 小林 照三
- 監査役(社外) 豊田 國弘
- 監査役(社外) 加藤 大朗
- 監査役 三船 強

■執行役員

- 会長 浦上 浩
- 社長 吉川 進
- 常務執行役員 田中 孝雄
- 常務執行役員 横山 隆志
- 常務執行役員 加村 幹夫
- 常務執行役員 室家 士郎
- 執行役員 石井 浩司
- 執行役員 鈴木 健二郎
- 執行役員 伊東 邦侑
- 執行役員 本川 直道
- 執行役員 檀上 和秋
- 執行役員 大澤 章治
- 執行役員 堂本 秀樹

リョービグループのCSR（企業の社会的責任）経営について

■ CSR経営の基本的な考え方

リョービグループは企業理念『技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。』のもとで、企業の持続的な価値創造とより良い社会の実現をめざし、社会的責任を果たすことを経営の基本と考えています。単に、公正な競争を通じて利潤を追求するだけでなく、広く社会から有用な存在として、好感を持たれ信頼される企業になることをめざしています。

■ 「社会にとってかけがえのない存在になる」ために

リョービグループは社会に有用な商品やサービスを提供し、その対価としての適正な利潤を社会から得ています。

同時に、以下のような企業活動を通して、「健全で活力にみちた企業」「社会にとってかけがえのない存在として信頼される企業」となることをめざしています。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 環境保全への取り組み | … 地球環境への配慮(持続可能な社会の実現) |
| 2. 社会貢献活動 | … 地域社会との共存 |
| 3. コンプライアンス | … 法令・倫理等の遵守 |
| 4. 顧客の立場に立った商品・サービスの提供 | … 顧客満足度の向上 |
| 5. 働きやすい職場づくり | … 社員満足度の向上 |
| 6. 積極的な企業情報の開示 | … 株主・投資家等の皆様とのコミュニケーション |

環境保全活動への取り組みの紹介… 環境に配慮した印刷機の開発

RYOBI 750シリーズが欧州連合(EU)公式認定の環境対応規格「BG環境テスト認証」を取得

近年、印刷時に放出されるインキなどの揮発性有害物質の削減や稼動時の騒音低減など、環境に配慮した印刷機・印刷技術へのニーズが高まっています。平成19年7月、当社のB2判高速オフセット多色印刷機「RYOBI 750シリーズ」が、欧州連合(EU)で公式に認定されている環境対応規格「BG環境テスト認証」を取得しました。

この規格は、欧州での印刷従事者の健康確保を目的として設けられているもので、印刷現場の環境に対する安全性が評価されたものです。



RYOBI 754



認証証書

「くらしごこち」がテーマです。



■ 株式事務についてのご案内

- 決 算 期 3月31日
- 基 準 日 定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 6月中
- 公 告 の 方 法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜1-1-5
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 郵便物送付先 〒530-0004
及び電話照会先 大阪市北区堂島浜1-1-5
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
Tel. 0120-094-777(フリーダイヤル)
※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ
信託銀行の電話及びホームページでも24時間承って
おります。
本店証券代行部 Tel. 0120-244-479(フリーダイヤル)
大阪証券代行部 Tel. 0120-684-479(フリーダイヤル)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
- 単元未満株式買取り請求
及び買増し請求場所 単元未満株式(当社の場合1,000株未満の株式)の
買取り及び買増しをご希望の方は、上記の株主名
簿管理人、同事務取扱場所及び同取次所にご連絡
ください。

リョービホームページでは、IRや商品
等の最新情報に加えて、事業内容等
を映像(動画)で紹介しています。
ぜひご覧ください。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



RYOBI リョービ株式会社

本 社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
Tel. (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
Tel. (03) 3927-5541



※この報告書はリョービ書体で制作しています。
また、再生紙と大豆インキを使用しています。
無断複製・転載等を禁止します。